

# 文化財保護について

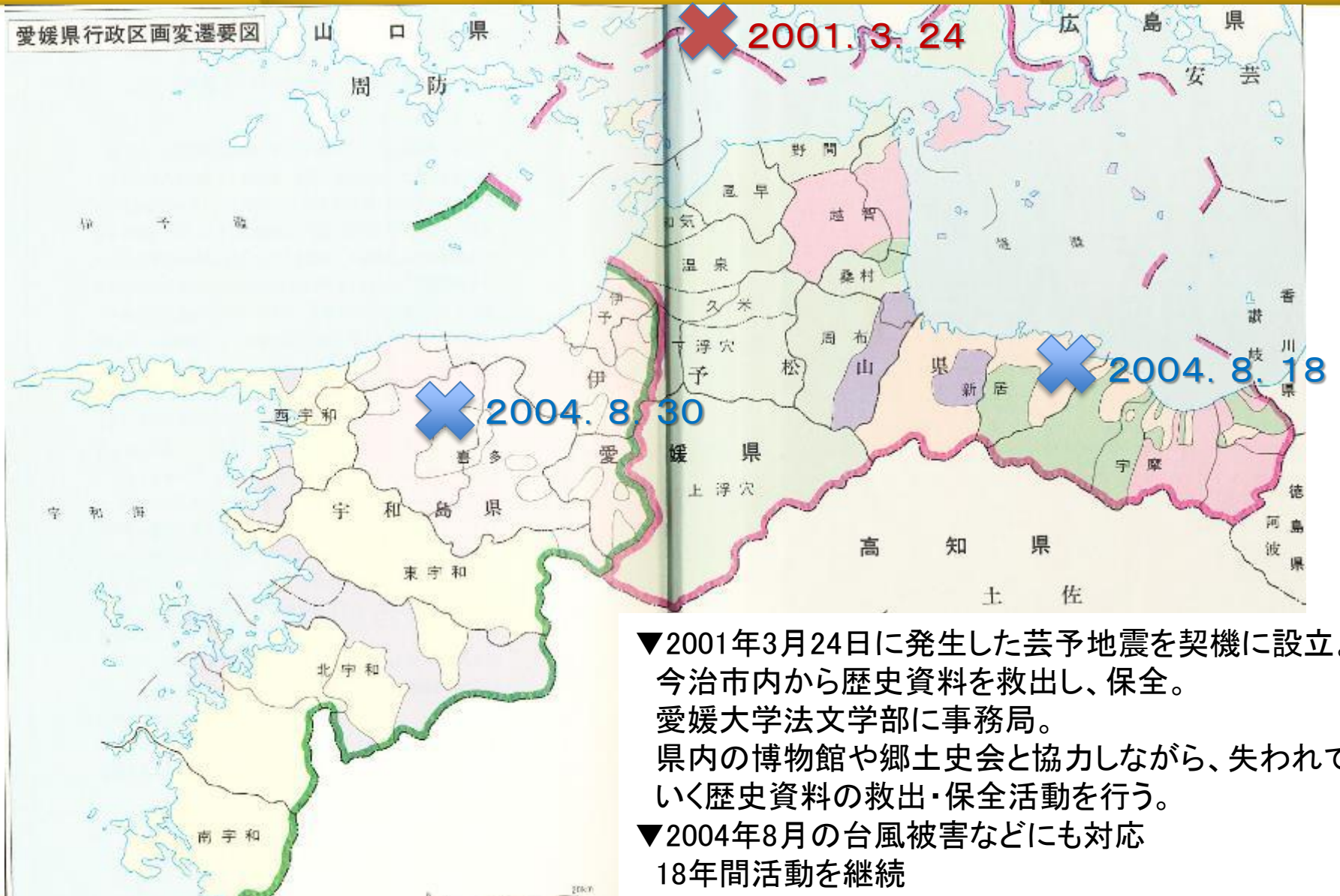
愛媛大学法文学部

教授 胡 光

EBESU Hikaru

愛媛資料ネット事務局長

# 1 愛媛資料ネットとは





- ▼2001年3月24日に発生した芸予地震を契機に設立。  
今治市内から歴史資料を救出し、保全。  
愛媛大学法文学部に事務局。  
県内の博物館や郷土史会と協力しながら、失われて  
いく歴史資料の救出・保全活動を行う。
- ▼2004年8月の台風被害などにも対応  
18年間活動を継続



これまでの保全資料から

▼明治時代の別子銅山製錬に関わる、今治市内への公害関係史料

▼多喜浜塩田の安政南海地震の被害と復興史料

▼道後温泉の安政・昭和南海地震関係史料



吉村2012を改編



図1 四阪島（現 愛媛県今治市宮窪町四阪島）



## 2 西日本豪雨における文化財の被害と保全活動

### (1) 国・県・市町指定文化財

県教育委員会文化財保護課が市町と協力して対応

### (2) 未指定文化財

愛媛資料ネットが県・市の博物館や郷土史会と協力して対応





### 3 これまでの保全活動

- (1) 大洲市内の旧家から被災直後に古文書・書籍救出  
3件約20箱、洗浄・乾燥作業を実施



## (2) 宇和島市吉田町から古文書・書籍救出

1件約100箱4000点、大量のため今後の洗浄・乾燥作業に備えて、冷凍して保管中  
緊急避難した民間冷凍庫から、愛媛大学沿岸環境科学研究センターES-BANKへ  
搬入予定(8月6日)





- (3) 大洲市内の旧家で被災した甲冑などの復旧作業
- (4) 大洲市・八幡浜市と共同で被災写真レスキュー講座開催
- (5) ツイッターで資料保存の呼びかけや写真救出法の公開





## 4 今回の保全活動の課題と対策

- (1) 水損資料の取り扱いが困難で緊急を要すること  
資材や冷凍庫の確保、救出・保全活動の多様化・  
長期化 → 多方面の協力
- (2) 広域災害と甚大な被害のため、救出が追い付かない  
→ 県外からの協力

